

第82期

# 中間報告書

平成27年4月1日～平成27年9月30日



紅葉と穂高岳

## 株主の皆さまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第82期第2四半期累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)のご報告にあたり一言ご挨拶申し上げます。

まずは本年8月に発覚いたしました社内不正事件に関しまして、株主の皆さまに多大なるご心配とご迷惑をおかけしたことを、深くおわび申し上げる次第でございます。現在は全社一丸となって、再発防止と信頼の回復に努めております。

さて、当期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調を維持しておりますが、中国経済の減速感やヨーロッパにおける難民問題等により、日経平均株価も若干弱含みの展開となっております。

このような状況のもと当社グループは、引き続き「エネルギーのベストミックス」を基本に、LPガス・石油類・太陽光発電等お客様のニーズに対応したトータルな提案営業を積極的に展開し、エネルギー利用の高效率化を推進する一方、コスト削減や適正利益の確保に継続的に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、前連結会計年度当初の消費税率引き上げによる反動から回復したものの、燃料関係の仕入価格が前期比で低水準を維持していることから、連動して販売価格も低位で推移したことにより、売上高は119億48百万円(前年同期比13.9%減)となりました。

利益面におきましては、適正利益の確保に努めたこと及び子会社における不動産事業が順調に推移したこと等により、売上総利益は31億96百万円(前年同期比5.3%増)となりました。販売費及び一般管理費は、LPガス保安関連費用の増加等があったものの、その他の費用の圧縮に努めたことにより、28億15百万円(前年同期比0.2%増)となり、営業利益は3億81百万円(前年同期比66.7%増)、経常利益は4億46百万円(前年同期比57.3%増)となりました。また、税金費用を控除した親会社に帰属する純利益は2億84百万円(前年同期比63.4%増)となりました。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

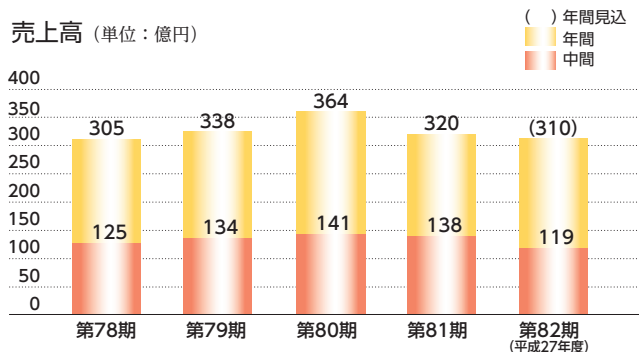
柳澤 勝久

平成27年12月

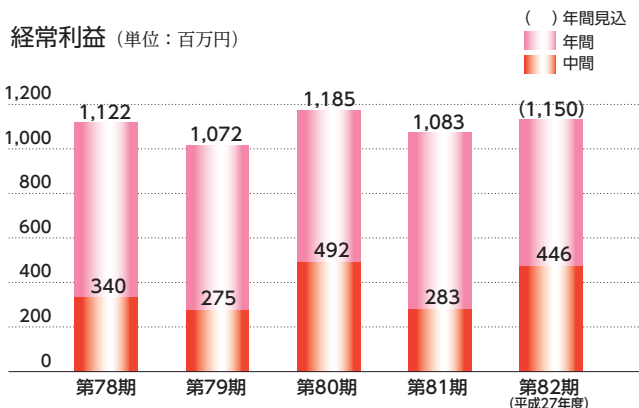
# 営業の概況(連結)

## ■財務ハイライト

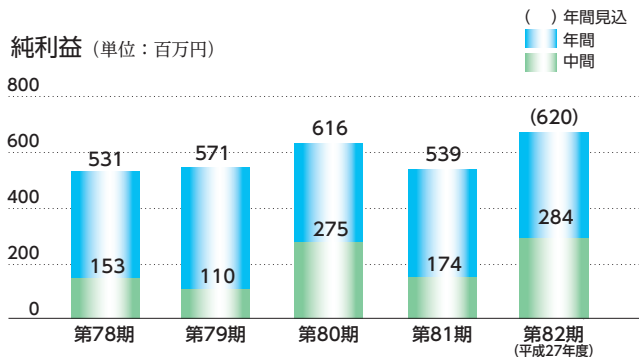
売上高 (単位: 億円)



経常利益 (単位: 百万円)



純利益 (単位: 百万円)



石油事業におきましては、お客様の価格志向が非常に強い中、原油価格の下落による影響から販売価格の下落が続き、加えて業者間及びエネルギー間の競争は一段と激しさを増し、販売価格の面でも利益確保の面でもより厳しい状況で推移いたしました。このような中であって当社グループは、価格競争力と顧客サービスの向上を図りつつ、販売数量の確保に努めてまいりました。

LPガス事業におきましては、便利で経済的なLPガスは豊かな暮らしの担い手であることをお客様に理解していただくため、販売店と一体となったキャンペーンを実施するとともに、バルク供給化を引き続き推進し、流通合理化による配送コスト削減を進めてまいりました。

リフォーム事業におきましては、当社の強みでもあります幅広い角度からのトータルな営業提案を行うべく、社内で研修や訓練を行い、よりお客様の立場に立った営業展開を推進してまいりました。

また、環境事業におきましては、新たに2箇所の自社発電設備が発電開始となり、自社発電設備による売電事業及びメガソーラー発電專業子会社でありますサンネックスパワー駒ヶ根(株)ともに順調に推移しております。

一方、当社事業の基本であります「LPガス消費者保安」につきましては、自己完結型の自主保安体制強化に引き続き努めており、高度保安実施事業者としての「液化石油ガス認定販売事業者」の地位を堅持しております。

さらに、サンエネック(株)における不動産事業において、区画分譲地の販売が堅調に推移しており、グループの業績に大きく貢献しております。



# 財務指標

## 四半期連結貸借対照表(要旨)

当第2四半期末(平成27年9月30日現在)  
前期末(平成27年3月31日現在)

	(単位:百万円)		(単位:百万円)	
	当第2四半期末	前期末	当第2四半期末	前期末
<b>資産の部</b>				
<b>流動資産</b>	<b>9,826</b>	<b>10,585</b>	<b>5,827</b>	<b>6,384</b>
現金及び預金	5,715	5,540	2,042	1,919
受取手形及び売掛金	2,224	3,241	2,819	3,004
商品及び製品	1,186	1,335	160	192
仕掛品	33	26	92	164
原材料及び貯蔵品	414	124	159	289
繰延税金資産	91	147	553	813
その他	161	174		
貸倒引当金	△ 1	△ 5		
<b>固定資産</b>	<b>12,987</b>	<b>12,804</b>	<b>1,726</b>	<b>1,776</b>
有形固定資産	8,864	8,630	447	496
無形固定資産	90	102	707	725
投資その他の資産	4,033	4,070	196	185
投資有価証券	3,637	3,681	32	24
繰延税金資産	79	76	108	113
差入保証金	177	180	36	36
その他	347	325	196	194
貸倒引当金	△ 208	△ 193		
<b>負債の部</b>				
<b>流動負債</b>				
支払手形及び買掛金				
短期借入金				
1年内返済予定の長期借入金				
未払法人税等				
賞与引当金				
その他				
<b>固定負債</b>				
長期借入金				
退職給付に係る負債				
役員退職慰労引当金				
資産除去債務				
繰延税金負債				
固定資産解体費用引当金				
その他				
<b>負債合計</b>			<b>7,553</b>	<b>8,160</b>
<b>純資産の部</b>				
<b>株主資本</b>			<b>14,890</b>	<b>14,826</b>
資本金			1,512	1,512
資本剰余金			1,245	1,245
利益剰余金			12,140	12,076
自己株式			△ 8	△ 8
<b>その他の包括利益累計額</b>			<b>342</b>	<b>372</b>
その他有価証券評価差額金			321	329
退職給付に係る調整累計額			21	42
<b>非支配株主持分</b>			<b>28</b>	<b>29</b>
<b>純資産合計</b>			<b>15,260</b>	<b>15,228</b>
<b>負債純資産合計</b>			<b>22,814</b>	<b>23,389</b>
<b>資産合計</b>	<b>22,814</b>	<b>23,389</b>		

# 財務指標

## 四半期連結損益計算書(要旨)

(第2四半期連結累計期間)

当第2四半期累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)  
前第2四半期累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)

(単位:百万円)

	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間
売上高	11,948	13,879
売上原価	8,751	10,843
売上総利益	3,196	3,035
販売費及び一般管理費	2,815	2,806
営業利益	381	228
営業外収益	105	109
営業外費用	40	54
経常利益	446	283
特別利益	7	88
特別損失	4	48
税金等調整前四半期純利益	449	323
法人税等	165	149
四半期純利益	284	174

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

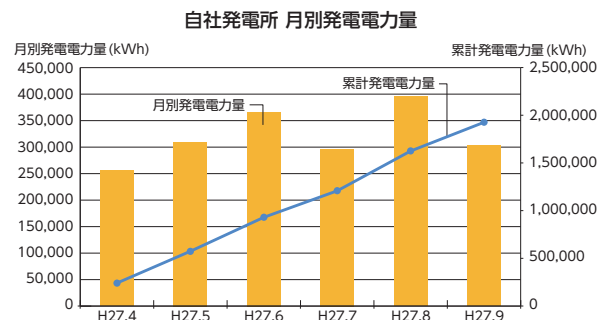
当第2四半期累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)  
前第2四半期累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)

(単位:百万円)

	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,261	968
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 364	△ 134
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 487	△ 377
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,075	3,268

## ◆太陽光発電システムによる環境貢献

当期においては伊那発電所と千曲高原発電所の2件の自社発電所が運転開始となりました。これにより自社発電所は合計12件となり、その総発電能力は約2.9MWとなります。これは毎日一般家庭約820軒分(1日約9,500kWh)<sup>※1</sup>の電気を作製し、1年間でドラム缶約3,300本分の原油から排出される二酸化炭素約915tを削減していることとなります<sup>※2</sup>。



自社発電所第12号千曲高原発電所

※1 「一般家庭の平均年間電力消費量」は4,209kWh/年  
(省エネルギーセンター：待機時消費電力調査報告書による)

※2 太陽電池による原油、CO<sub>2</sub>削減効果1kWシステム当たり年間で原油227L、二酸化炭素314.5kgで換算(太陽光発電協会による)

## ◆サンリンカップ少年サッカー大会を主催

このたび、地域貢献の一環として、「サンリンカップ少年サッカー大会」を主催することとなりました。この大会は小学6年生以下の少年サッカー大会で、第1回大会は中信地区をはじめ茅野・富士見地区まで合計32組400名以上の少年サッカーチームが参加し、予選リーグと決勝トーナメントの計2日間に渡り熱戦を繰り広げました。  
(写真は市民タイムス提供)



開会式選手宣誓

熱戦の様子

## ◆塩尻市片丘の宅地分譲地完売について

このたび、不動産事業を手掛ける当社グループのサンエネック(株)において、塩尻市片丘の宅地分譲地26区画(1区画平均約300㎡)が好評をいただき、完売となりました。この分譲地は塩尻市が旧市営住宅渋沢団地跡地(敷地面積約1万1550㎡)をプロポーザル方式による選考を行うとした公募に対し、サンエネック(株)の整備計画の提案が認められて入手することができ、宅地として造成整備して分譲した土地となります。



新築着工で賑う塩尻市片丘ニュータウン

## 株式の状況 (平成27年9月30日現在)

### ■株式の状況

① 発行可能株式総数	40,000,000株
② 発行済株式の総数	12,300,000株
③ 1単元の株式の数	1,000株
④ 株主数	724名

### ■上位株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社ミツロコグループホールディングス	1,676	13.6
リンナイ株式会社	712	5.8
等々力正敏	614	5.0
株式会社八十二銀行	575	4.7
曾根原充夫	548	4.5
東燃ゼネラル石油株式会社	500	4.1
株式会社長野銀行	458	3.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (管理信託口79212)	352	2.9
須澤孝雄	346	2.8
長野県信用農業協同組合連合会	225	1.8

(注) 出資比率は、自己株式16千株を控除して計算しております。

### ■分布状況

所有者別の株式分布状況

所有者	持株数(千株)	出資比率(%)
個人・その他	6,757	55.0
金融機関	2,118	17.2
その他の国内法人	3,407	27.7
自己株式	16	0.1
その他	2	0.0

## 会社の概要 (平成27年9月30日現在)

- 社名 / サンリン株式会社
- 設立 / 昭和9年12月19日
- 資本金 / 15億1,280万円
- 従業員数 / 492名 (グループ人員)
- 事業の内容 / 石油製品、LPガス、一般高圧ガスおよび住設機器の販売、煉炭・豆炭の製造販売  
太陽光発電等の環境事業

### ■役員の状況 (平成27年9月30日現在)

代表取締役社長	柳澤勝久
代表取締役専務	川窪磯男
常務取締役	大槻清人
常務取締役	塩原規男
常務取締役	茂木誠
取締役	田島晃平(社外取締役)
取締役	須澤孝充
取締役	高野朗
取締役	金井正
取締役	中村章
常勤監査役	坂内富夫
常勤監査役	川岸隆
監査役	山根伸右(社外監査役)
監査役	井口秀昭(社外監査役)

### ■子会社等 (平成27年9月30日現在)

- 三鱗運送株式会社 (一般貨物自動車運送事業、貨物運送取扱事業)
- ウロコ興業株式会社 (管工事業)
- 富山サンリン株式会社 (燃料等卸小売業)
- サンエネック株式会社 (LPガス容器等賃貸業、不動産業)
- 上伊那ガス燃料株式会社 (LPガス充填業務)
- サンリン松本エネルギー株式会社 (燃料等卸小売業)
- 田中製氷冷凍株式会社 (氷製造卸、冷蔵倉庫業)
- 株式会社一実屋 (青果卸売業)
- サンネックスパワー駒ヶ根株式会社 (太陽光発電事業)
- 新潟サンリン株式会社 (燃料等卸小売業)

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	毎年3月31日(ただし、中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所 公告の方法	東京証券取引所JASDAQ市場 電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.sanrinkk.co.jp/">http://www.sanrinkk.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

## 【お 知 ら せ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

## 営業拠点



UD FONT  
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

この報告書は、環境に優しい植物油インキを  
使用して印刷しています。